



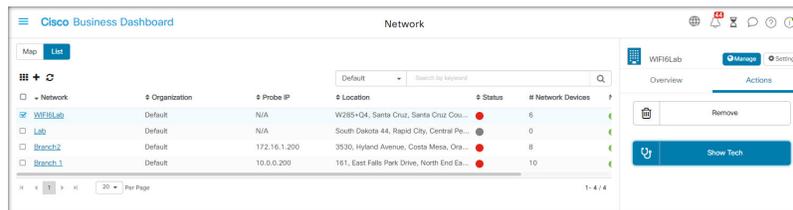
# トラブルシューティング

この章は、次の項で構成されています。

- [ネットワーク診断情報の取得 \(1 ページ\)](#)
- [Probe のログ設定の管理 \(2 ページ\)](#)

## ネットワーク診断情報の取得

**Network Show Tech** 機能を使用すると、ネットワークの診断情報を後で解析したり、サポートエンジニアに送信できる形式で容易にキャプチャできます。**Network Show Tech** は、Dashboard と Probe の接続の問題をトラブルシューティングしているイベントで、Dashboard UI から生成するか、Probe UI から直接生成することができます。**Network Show Tech** をキャプチャするには、次の手順に従います。

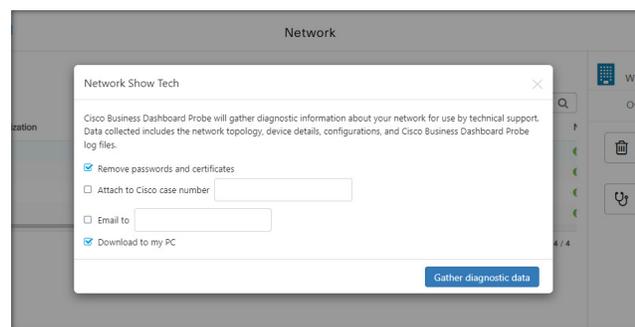


1. [Network] に移動し、チェックボックスをクリックし、診断情報を収集するネットワークを選択します。
2. [Actions] タブを選択し、[Show Tech] をクリックします。  
または、Probe の UI にログオンし、[Troubleshooting] > [Network Show Tech] に移動します。
3. チェックボックスを使用して、パスワードと証明書をデバイス設定から除外するかどうかと、診断情報をどこに送信するかを制御します。次のオプションを使用できます。
  - 診断情報を既存のシスコ サポート ケースに添付します。そのためには、フィールドにケース番号を入力します。
  - 電子メールを使用して診断情報を送信します。カンマ区切りの電子メールアドレスのリストをフィールドに入力します。

- 診断情報を PC にダウンロードします。

Probe から **Network Show Tech** を生成する場合は、サポートケースに電子メールを送信したり接続するオプションはありません。診断情報を PC にダウンロードする必要があります。

4. [Gather diagnostic data] をクリックします。



診断情報が zip ファイルとして配信され、収集したデータをナビゲートするための基本的な Web ページが含まれています。データにアクセスするには、以下の手順に従います。

1. 診断情報ファイルを PC に解凍します。
2. Web ブラウザを使用して、ディレクトリにある index.html ファイルを開きます。

## Probe のログ設定の管理

Probe の [Log Settings] は、Dashboard と Probe の接続の問題をトラブルシューティングするイベントで、Dashboard UI から、または直接 Probe の UI から管理できます。ログ設定では、Probe がそのログファイルに保持する情報を制御します。

この情報は、Cisco Business ダッシュボードの問題を診断するエンジニアをサポートするために重要です。

特定のネットワークのログ設定を変更するには、次の手順に従います。

1. [Network] ページを開き、設定を変更するネットワークの横にあるチェックボックスをクリックします。
2. [Network overview] パネルの上部にある [Settings] ボタンをクリックします。
3. [Log Settings] タブを選択します。

または、Probe UI にログオンし、[Administration] > [Log Settings] に移動します。

使用可能な設定には以下のパラメータがあります。

表 1: ログ設定

フィールド	説明
<b>Log Level</b>	ログに記録する詳細レベル。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Error] : エラー レベルのメッセージのみ</li> <li>• [Warning] : 警告とエラー</li> <li>• [Info] (デフォルト) : 情報メッセージ以上</li> <li>• [Debug] : 低レベルのデバッグ メッセージ含むすべてのメッセージ</li> </ul>
<b>Log Module</b>	メッセージを保存するモジュール。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [All] (デフォルト) : すべてのモジュール</li> <li>• [Call-home Agent] : Probe と Dashboard 間の通信</li> <li>• [Discovery] : デバイス検出イベントとトポロジ検出</li> <li>• [Northbound] : Dashboard と Probe 間の通信</li> <li>• [Services] : ノースバウンドとサウスバウンド間のメッセージ変換</li> <li>• [Southbound] : Probe とデバイス間の低レベル通信</li> <li>• [System] : 他のどのモジュールでも対象となっていないコアシステム プロセス</li> </ul> 必要に応じて複数のモジュールを選択できます。

Probe のログ ファイルは、[Network Show Tech] コンテンツに含まれます。[Network Show Tech] オプションの詳細については、[ネットワーク診断情報の取得 \(1 ページ\)](#) を参照してください。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。